

JP法の基本（M指標）

今回はJP法の基本であるM指標について簡単な見方を解説します。

M指標の意味などは、「テクニカル大事典」などをお読み下さい。

<http://www.neuralnet.co.jp/user/manual/index.html>

または、こちらにも載っております。

<http://www.neuralnet.co.jp/jp/teck024.html>

<http://www.neuralnet.co.jp/kaisetsu/01.html>

在庫はありませんが、「亀の歩みの投資術」書籍に載っております。今回この書籍からM指標の解説を抜き出したコピーを用意致しましたので必要な方はご連絡下さい。

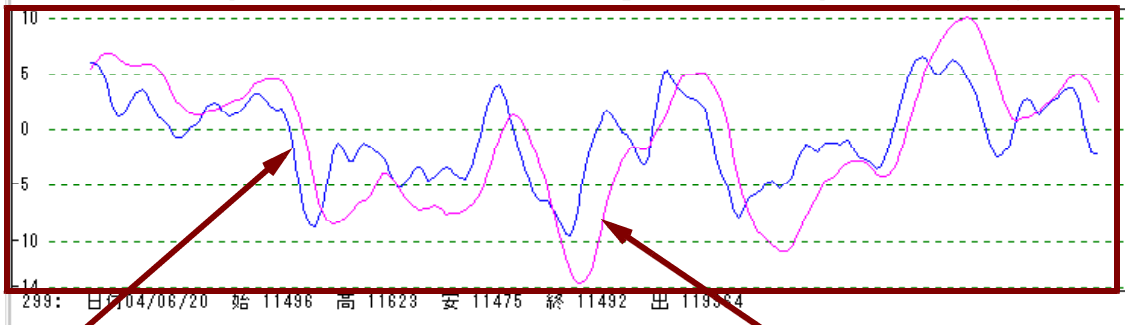
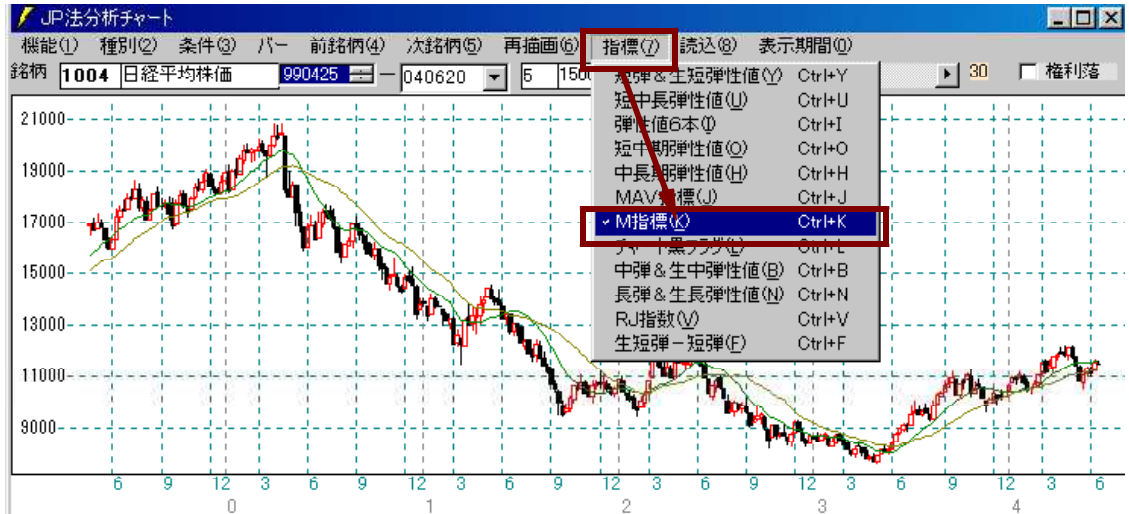
簡単に説明しますと、移動平均線のGC（ゴールドクロス）・DC（デッドクロス）より早く転換点を捉えようとする意図で開発された指標です。

似たような指標では、M指標誕生後、アメリカで開発された指標MACDがあります。または、移動平均間カイリ度です。

■ M指標の表示方法

ソフトは「JP分析メニュー」を使います。

ここに登録されています。（指標(7)の中→M指標）



青色線・・・短期M指標

赤紫線・・・中期M指標

■ M指標の種類と周期

種類は2つ、周期は短期M指標 [4と13]、中期M指標 [9と26] を使っています。周期は固定です。

便宜上、以下のような呼び名を使っています。

短期M指標・短M 一ヶ月と三ヶ月の出来高加重移動平均のカイリを見ています。

中期M指標・中M 二ヶ月と半年の出来高加重移動平均のカイリを見えています。

※「亀の歩みの投資術」などとの解説と違う点

J Pソフトで表示されているM指標は全てスムージングしています。スムージングについては前号の解説をご覧ください。

「亀の歩みの投資術」ではスムージングしていない解説となっておりますが、見方は同じです。

また同書籍では、13週と26週を見していますが、本ソフトではそれを見ていません。上記の周期を用いています。

■ 見方の基本

週足で判断します。「-4」以下で買い場、「+8」以上で売り場と見ます。



三ヶ月の流れを見る場合は短Mを使い、半年の流れを見る場合は中Mを使います。

簡易売買ポイント

- ①短M（中M）が-4以下で下降から上昇に転じた（V字）ポイントを買いとします。
- ②短M（中M）が8以上で上昇から下降に転じた（逆V字）ポイントを売りとします。

J Pシートでは以下のように入力します。例. 短Mの場合

JP法分析シート 週定用 0701番

コメント 短M「-4」以下でV字 買いポイント

短期弾性値	以上		出来高倍率	以下	
短期弾性値	以下		最大出来高	周期	
中期弾性値	以上		最大出来高か?		
中期弾性値	以下		短弾	向き	
長期弾性値	以上		中弾	向き	
長期弾性値	以下		長弾	向き	
MAV指標	以上		MAV	向き	
MAV指標	以下		短期M	向き	4
短期M指標	以上		中期M	向き	
短期M指標	以下	-4	生短弾	向き	
中期M指標	以上		生中弾	向き	
中期M指標	以下		生長弾	向き	
生短弾性値	以上		短コスト	向き	
生短弾性値	以下		長コスト	向き	
生中弾性値	以上		短/長コスト	位置	
生中弾性値	以下		短コスト上・下抜け		
生長弾性値	以上		長コスト上・下抜け		
生長弾性値	以下		短長DC後日柄	以上	
買定値	同期		短長DC後日柄	以下	

V字の意味

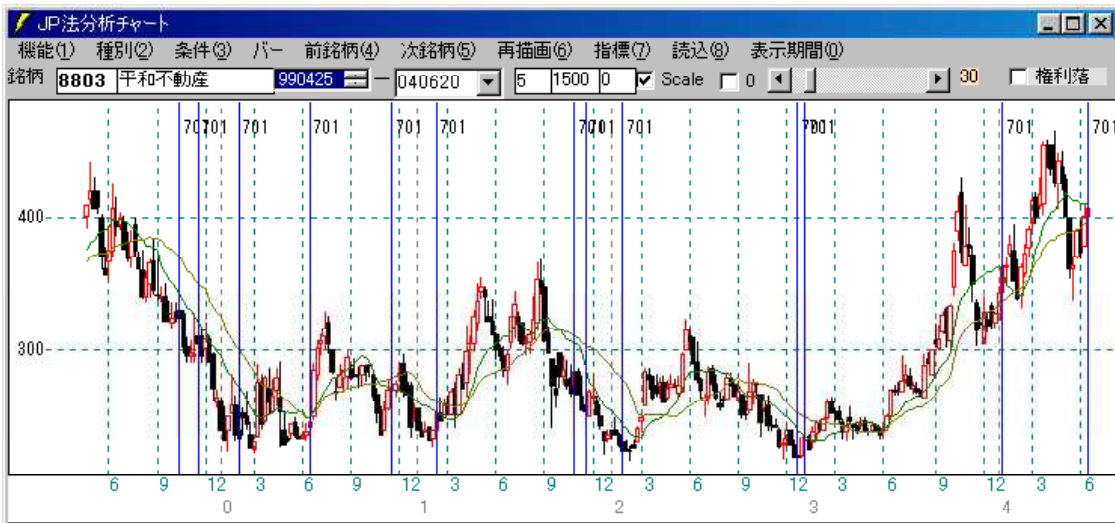
JP法分析シート 週定用 702番

コメント 短M「+8」以上で逆V字 売りポイント

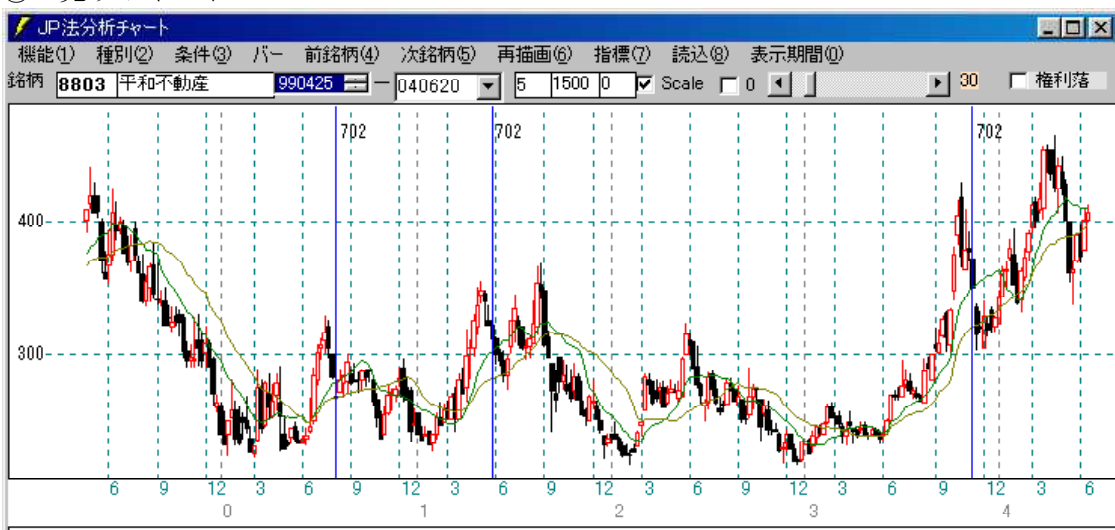
短期弾性値	以上		出来高倍率	以下	
短期弾性値	以下		最大出来高	周期	
中期弾性値	以上		最大出来高か?		
中期弾性値	以下		短弾	向き	
長期弾性値	以上		中弾	向き	
長期弾性値	以下		長弾	向き	
MAV指標	以上		MAV	向き	
MAV指標	以下		短期M	向き	5
短期M指標	以上	8	中期M	向き	
短期M指標	以下		生短弾	向き	
中期M指標	以上		生中弾	向き	
中期M指標	以下		生長弾	向き	
生短弾性値	以上		短コスト	向き	
生短弾性値	以下		長コスト	向き	
生中弾性値	以上		短/長コスト	位置	
生中弾性値	以下		短コスト上・下抜け		
生長弾性値	以上		長コスト上・下抜け		
生長弾性値	以下		短長DC後日柄	以上	

逆V字の意味

①の買いポイント



②の売りポイント



V字、逆V字での売買サインはそれぞれ底、天井を確認してからの表示となります。このため上記②のようにある程度下がってから表示され都合が悪い事もあります。この場合は逆V字の設定をはずし、短M「+10」以上のみ、などと設定します。

買いサインの場合で更に下がったポイントを捉えたいという事であれば「-8」以下、「-10」以下とします。底を確認してからという事であれば、「V字」を付けて下さい。